



【ニュースレター】 第2号 初のコンサート 仙台で開催

2006.12.26

日時:2006年12月16日(土) 13時より

場所:仙台 社会福祉法人 チャレンジらいふ すていじ仙台 かりよん

主催:うめの会(仙台市の養護学校の児童生徒と保護者、教師でつくる会)

参加者:児童生徒、保護者、教師の方などで34名 当法人から4名



出演:ヴァイオリン 漆原 朝子さん ピアノ 小森谷 裕子さん

曲目:モーツァルト ヴァイオリンソナタ K.378 変ロ長調

フランク ヴァイオリンソナタ イ長調 楽章

シューベルト アヴェ・マリア

サン・サーンス 序奏と Rond Capriccioso

アンコール曲:サンタが街にやってくる / エルガー 愛の挨拶

当日はうめの会のクリスマスコンサートとして行われました。今回、障害のある子ども達にとって音楽がどのようなものとして受け止められるのか・・・等、始まるまでは子ども達の反応に一抹の不安がありましたが、子ども達が真剣に聴き入っているのを見て、ホッとしました。演奏家お二人の一切の妥協のない真摯な演奏を、子ども達が食い入る様な表情で聴き入っている様子に、目頭が熱くなってしまいました。 徳永扶美子(NPO 法人「子どもに音楽を」 理事長)

<うめの会 代表 遠藤真利子さん>

真剣に取り組む演奏家の方の姿勢に感動したコンサートでした。障害をもつ子どもたち、とりわけ自閉症の子どもたちが、大変興味深くみて、聞いていました。体や心で受け止めていると印象をもちました。全く知らない曲であっても、素晴らしい演奏、真剣な演奏には、子どもたちはこんなにもひきつけられるものだと思います。ピアノもですが、バイオリンの音に対する反応がとてもいいと思いました。子どもたちのお手紙、後日遅らせていただきます。

<ヴァイオリン 漆原朝子さん>

今回は子どもたちの感受性の豊かさ、そして純粹さをあらためて感得いたしました。きっと聴いたことのない曲ばかりだったのでは?と思いますが、集中して聴いてくれたことに感動いたしました。“子どもに音楽を”・・・これからもこの活動の輪を広げられますように、ますますのご発展をお祈りしております。

<ピアノ 小森谷裕子さん>

障害のある子供達に聴いてもらう演奏会は私にとって初めての経験でしたが、健常者の人達に比べても集中力があり音やパフォーマンスに対して研ぎ澄まされた感覚を感じました。私には楽しい一時でした。これからもこの素晴らしい“子どもに音楽を”にすこしでもお役に立てたらと心から願っております。

新年早々、東京・目黒の小学校でコンサートを予定しています。来年も有意義な活動を行い、皆様に報告が出来ます様、一同頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

HP:<http://www16.ocn.ne.jp/~kodomoni/>